

高岡市女性プラン情報誌

7 号 2000年3月

ありーて

もくじ

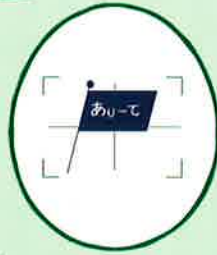
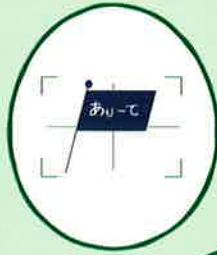
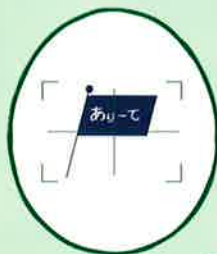
特集 DREAMING “2000”

～2000年を夢できりひらく～

セピア色の写真から

『DO』から学ぶ

BOOK紹介



「ありーて」は、自分の力で問題解決していく
イギリスの童話の主人公の名前です。
「私の未来は私が創る」とアリーテはいます。



「わたくしがつくる新世紀」

「ありて」では、男女共同参画を考える情報誌として、私たちがひとりの人間としてどのようにして個人を確立していくのか、そのために必要な情報や知識は？といった、いわば個人そのものを考えてきました。

そこで今回の特集では、そこから一歩踏み出して、個人と社会の関係性について考えます。これからの社会を作っていくのは、ほかの誰でもない私たちひとりひとりです。私たち自身の力、想いが未来を育んでいくのです。

未来へ向けて、夢を持って取り組む人たちの姿、市民の皆さんの様々な夢。『ゆめ』という言葉を手がかりに、これからのわたしについて考えてみましょう。

DREAM INTERVIEW

いにしえ 古の夢を受け継ぐ 17XX~2XXX 勝興寺修復に携わる人々

勝興寺修復

勝興寺本堂は、素屋根と呼ばれる体育館のような大きな建物(50m×50m×30m、8階建てのビルほどの大きさ)にすっぽりと覆われていた。素屋根の中には外壁や床板がはずされ、骨組みだけになった本堂が静かにたたずんでいた。がらんとした場所で黙々とした

作業が続く。解体ではなく「とりほどこき」だと言われるように、手作業で一枚一枚板をはがしていく。材料を安易に取り替えず、古いものをなるべく残す修復方法のためである。本堂、書院、経蔵、あわせて18年、平成28年完成予定の実に気の長い作業だ。

棟梁の田中さんは、「仕事というのはいずれも一緒。ただ一生懸命やるだけ。しかし、200年前の材木をさわっていると、手に200年の歳



月が感じられる」と淡々と語る。いかにも職人といった風貌と語り口にわけもなく感動した。

修復工事共同企業体所長の三木さんは「今までコンクリートのビルを造ってきた。建築の世界ではメートル法に代わってSI単位という世界基準に変わりつつある中、最初は尺貫法の世界に戸惑いを感じたが、今はすっかりこの世界に魅せられてしまった」と穏やかな笑顔を見せる。

3時に芋の煮っ転がしを差し入れに来た住職さんや文化財建造物保存技術協会の今井さんも交えて話すうちに、この時間の物差しは一目盛りが100年であることに気づいた。せわしない現代の時計を越えてしまった、なんとも贅沢な空間である。

そんな夢のような場所を持っているということがあれば文化というもののなのかも知れないと思った。



21世紀に
叶えたい夢は
何ですか？

105人

にお尋ねしました。

105の夢のバケトル

「本当はこんなふうに生きてみたい」って、いう本音は、きつと誰もが持っている筈。
口に出すとちよつと照れくさくて言えないけど、心の中では、そつちに気持ちに向かっていて、そんな思いをアンケートしてきました。

次ページに続く言葉は、二十一世紀に出発したいという夢の航海の発進を待っている、大切な思いたちです。どの夢も目的地に辿りつけますように、と、編集員からもお祈りしつつ、以下ご紹介していきます。
(順不同)



DREAM INTERVIEW

白くてキレイな紙ができたヨ！

環境問題に取り組む、高岡市立万葉小学校園芸委員会の子供たち



ケナフ栽培



園芸委員会の5、6年生が中心となり、昨年6月の種まきから始まったケナフ栽培。成長の早いケナフは、11月に刈り取られ、皮むき、漂白剤を入れての煮込み作業、紙すきという行程を経て、和紙のような味わいと手作りらしいあたたかみのあるハガキへと再生した。

インタビューした園芸委員6人は、まず、草むしりや、自分の身長よりも高い幹を刈り取ることに、寒い屋外で皮をむくことのつらさを話してくれた。

そして、「この茶色くて汚い皮が、本当に白い紙になるのかな？と不思議だった」パルプが、「ちゃん」と白くて

きれいな紙に生まれかわったのを見て、とてもびっくりした。嬉しかった」と、最後には笑顔になっていた。「作業の中で一番大変だったことは？」という意地悪な質問にも、「全部が大変だったけど、特に嫌なことはなかった」と、少し自慢げに答えてくれた。

一から何かを作り上げるのは、予想以上に大変なことだ。ましてや、その存在すらあまり知られていない植物なのだから、試行錯誤



は相当なものだったろう。苦労やつらさを素直に話してくれたことがそれを表している。しかし、その苦労があったからこそ、ケナフの花が咲いた時、できあがった紙を手にした時の喜びも大きい。6人みんなの笑顔が何よりも、その達成感、満足感を物語っていた。

中小企業診断士試験に合格する。資格は身を助けるか？(50代) 今年こそ結婚！(20代) 歴史に名を残す人物になりたい。「知ってるつもり」に紹介されるくらい(20代) 仕事をやめて身障者をサポートしながら諸外国へ行きたい(50代) 対馬列島へ自由旅行(50代) 健康でもっと興味と関心をもって生きたい(60代) 子どもの問題に関わる人たちのネットワーク作りと場作りをはじめたい(50代) 早く年金があたるようになって、家のローンがなくなつて、働かなくてもいい日が一日も早くきてほしい(40代) 仕事をバリバリこなし、いいパパになるぞ(20代) 人の心をききつける人はいなくて、ついでに学校が家の横にきてほしいです(10代) 今後、高齢化社会になるため、社会のしくみを変えなければならぬ。私のすることは行政に加わって根本を考えることです(40代) 21世紀には20世紀の悪かったところ(環境破壊、社会問題、経済のしくみなど)が根本的に改善されるように、私も

味の焼き物を品を指して一ツと健康でありたユニケーションを大が当たりますように。(50代) からだにいい食べ物をつくり、夫や子どもに食べさせてあげ、喜ぶ顔を見たい(20代) 定年後、余裕の生活をエンジョイしたい(40代) 10年間、健康とダンスの講座を受講。この仲間と今年も旅行に出かけるのを楽しみに、講座をがんばる。妻は鼻で笑うけどね(70代) 外国へ行って日本にはない、それぞれの国のすばらしいところを見つきたい。環境も守りたい。このままではいつ地球が死んでしまいかかわらないので、自分のできることからやりたいです(10代) 早く仕事をやめて、おけいこごとでもして家を守っていききたい。仕事と家庭は私には無理(30代) 体重45kgになる。ダイエット成功に向けておかしをなるべく買わない(20代) 社内旅行でなく、プライベートな気ままな旅をする(30代) 今年は石鯛の60cmオーバーを釣りたい。黒鯛であれば50cmオーバー(40代) ルパン三世のビデオ全巻制覇！ただいま3本(10代) 南アフリカへ行ってヘラクレスオオカブトをみる(6才) 時間ができたなら、娘の家に遊びに行つて孫と遊びたい(50代) 健康で家族仲良く暮らしていくこと(40代) 自分の時間を持つようにしたい。海外へ出たことがないので行けるようになりたい(40代) 健康が一番です。無理をしないよう、いろいろなことにチャレンジしていきたい(30代) ケナフを広めていきたい。訳は、木は最近すごく減つていて空気をきれいにしていききたいから。みんなもちゃんと考えてほしい(10代) やりたいことをやってお金をかせげるように(税金が払えるくらい)になりたい！(30代) 孫の顔を今年はずせび見たい。おばあちゃんと呼ばれるのが早く来てほしい(50代) 山間方面に住み、自然とふれたい。



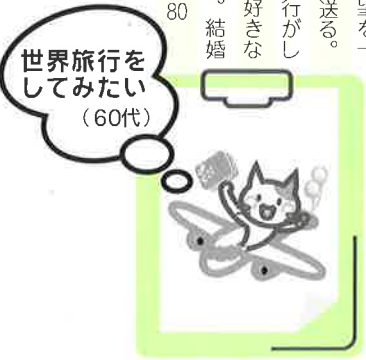
境破壊、社会問題、経済のしくみなどが根本的に改善されるはじめて30年余り、昨年に続いて日展出いく(60代) 介護問題より自分自身がズい！そのためには若い人たちのコミ切に(50代) 今年の年末ジャンボ宝くじ趣味の三味線で資格をとりたい。社長に子どもを3人産んで大切に育てること。

絵描きさんになる！ (5才)



太陽と共に起き、夕日とともに寝る生活がしたい(50代) 今年こそ結婚相手を見つきたい。婦になる。食事を作り夫を待つ生活がいい(20代) 通事故をなくしたい(20代) これからの日本希望ですが、国際化がもっと進んでほしいと思本当の意味での先進国になってほしいと思いま 社会のおばあちゃんになること。子どもたちがのびのびと自分らしくすごしている、そんな世の中を創りたい。おばあちゃんの台所からはいつもいいパンのにおい(50代) 現在わたしがやっている活動で、もっともっと稼ぎたいなあ(40代) ギリシヤカトルコに住んでその写真をたくさん撮って写真集を作りたい。老後はそこで畑仕事をして、精神的に豊かな暮らしができればいい(20代) 就職が決まりますように...というのは切実な願い。夢ならば、自分の人生観をかえるくらいの大きな出会いがあるといいな(20代) 家族でオーストラリアへ行き、好きなものを食べ、泳ぎ、のんびりとした時間を過ごす(40代) 介護福祉士になり仕事が始まって一年経とうとしている。ケアマネジャーを目指したい(20代) とくになし！今の生活に満足しています(50代) ステキな彼と海外のチャペルでウエディング！そのためにも彼を探さなきゃ(20代) 山歩きが大好き！いつまでも山歩きができる山を残しておきたい(50代) 今はこの仕事が楽しいしやりがいもある。また、自分をプラスにしてくれる最大のもののような気がする。でもそのうち大切な人を見つけて、暖かな家庭を作りたい(20代) 仲のよい友達と、どっか遠くへ行きたい。平和なところ。おいしい物を食べながらやせる(10代) いろいろな技術を身につけて自由に情報社会を楽しんで生きていきたい(30代) 老人介護ではいまだに家庭内の女性の介護負担が大きいので、少しでも負担を軽く出来るよう、仕事面でのスキルを高めていきたい(20代) 女の人たちが年をとってから残りの人生をのんびりと過ごせるグループホームを作りたい(50代) 無理をせず、健康に気をつけて、ボランティアなど、少しでも人に喜んでもらえる様に協力できたら(60代) コンピューターのボタンによって世の中が回って行く時代...やはり根底になる人間の触れ合い、人間関係を密にしての家族社会、平和な時代を夢見ます(50代) 出来れば早めに仕事をやめ、自由気ままな生活に入ること。自分とパートナーとの要望を十を新築し、充実した生活を送る。

い(40代) のんびりと旅行がし部忘れて(40代) 今まで好きなすてきな人と出会いたい。結婚良くなって外を歩くこと(80りしたい(40代) 自然を



分取り入れたマイホーム海外旅行に行きまくりたい。家事も子どもも全ことをしてきた。今年かなあ(20代) 貝合が代) 人生の宿題を終わ大切にして季節の風景、

花とか木をながめる(50代) 家族旅行。せめて一週間の(30代) 夫婦で豪華客船で世界一周旅行(40代) 世界中の子どもたちが笑顔で暮らせる世の中になればいい。そのためにもわたしに何が出来るか考えています(30代) ボランティア活動にもっと参加したい。スポーツボランティアに参加。地域活性化に取り組んでみたい。何かと話題にのぼる団塊の世代の人たち(わたし) もだがと協力し合って、活発に(50代) 21世紀こそ「ママ」になる!!(20代) 元氣な老後が夢。真美体操、抹茶、煎茶教室、古典の会で源氏物語が私の夢(60代) 天に舞う龍にチャレンシ

これから、やわとばかり夢見て(20代) 英語を(10代) パンを焼いて、くこと(20代) スピード時代にはなかなかついていけないのですが、若い方たちに少しかもつて行くように頑張っていきます(60代) お金のために働くのは疲れた。自分の時間をもっとほしい。やりがいのある仕事につきたい(40代) 家族がみんな健康で楽しく暮らして行くこと。娘、実母と旅行に行くこと(20代) プロ野球の選手になる(20代) 家の庭をオープンガーデンにしたい。塀を低くして外を通る人も楽しめるような庭。少しずつ草木を植えている。昨年植えた球根類が計算どおりに咲いてくれるか楽しみにしている(50代) 家族が、日本中、世界中が平穏に暮らせればと思えます(30代) 日本の情報取材する人になりたいです(10代) 犬と猫と一緒に住むこと(20代) 昨年失業した。なんとか職について、家計を維持していける程の収入を得たい。他県で暮らす2人の大学生の仕送り一杯の母。今はそれだけ(50代) 早く幸せにつくりたい(20代) 北海道かカナダに行つて下(30代) 「環境問題」かな?これからもまけれど、できればきれいな空気がなつてほしい(10代) みんながゆつたりと気持ちよく生活できることが普通になったら良い。システムの見直し、今までは違う価値観を認め合う社会になるといいな(50代) 夫ともう少し仲良くなれて、おだやかな老後が送れたらいいな(50代) 現在は子育ての最中です。子どもの成長を見守ると共に、自分自身充実した生活を送りたい(30代)



馬に乗って
保育園に
行きたいです
(3才)

元氣な老後が夢。真美体操、抹茶、煎茶教室、古典の会をかじり、多忙な毎日です。これからも続けて行くこと(代) 今年は私の干支(辰)です。の如し、勢いよく、いろいろな事(60代) やっと子育ても終わり、やわと友達との旅行、心はずむ(40代) 海外留学したい(マスターしたい(20代) 彼女がほん屋さんに嫁いで、毎日おいしいパンの香りの中で幸せな家庭を築

景気がなつて
ほしい
(20代)



暮らしが悪くなるライプやショッピンなりたい。仲の良い家庭を

結婚をして幸せな家庭!(20代) 世界中が平和になりますように。現実的な夢としてはいつまでも「生きていてよかった」と思える瞬間を持つこと(20代) 政策決定の場に女性が多くなる。誰もが政治に関わって自分たちの暮らしのために話し合っていくこと(50代) 自然体で、わたしらしく、やさしい気持ちで生きていきたい(40代) 21世紀に成人式を生き延びたい(20代) ケナフは、紙になるし二酸化炭素性質があるので、日本中で育てるようになればよい(代) ぼくは植物に対してもっとせっきょく(代) きれいな植物を作ってみたい(10代) 南の島へ行ってのんびり暮らしたい(20代) 家庭田舎で子どもたちがすくすく元気に育ち、笑顔の絶えない家庭を作ること。もう一つは仕事と育児に対して自分なりにがんばっていきけるように健康でありたい(30代) 歌手が総理大臣、小学校低学年の時。40年が過ぎた今も本質は変わりません。21世紀の前半には全自治体(35市町村)に女性議員が複数誕生するように力を入れたい(40代) 新しい家を建てて、下の娘に良い嬌さんを迎えて、夫の年金で老後を静かに暮らしたい。30年ぶりの海外旅行で旧交を温めたい(50代) 不景気がなくなつて、昔みたいにお金を使いたい(20代) 最近、砂ばく化や自然破れがおきているので、自然をこわさないようにしてほしい。そして紙などをつくる時、ケナフがお金のかからないようにしてほしいです(10代) 自分の専属歌手(こひいき)を連れてスペイン旅行をしたい(50代)

「笑つこと、祈ること、そして夢見ること。これが全ての生き物の中で、人間だけに与えられた力だ」という言葉を読んだことがあります。この特別な力を持ったからこそ、私たちは、二〇〇〇年もの時間を歩き続けることができたのでしょう。誰もが夢を抱き、性差や慣習にとらわれないことなく、自分の夢に向かって進んでいける社会、これこそが私たちが目指し、作っていかねばならない未来です。

さあ、目を閉じて想像してみましょう。自分の夢、未来の私、それを取りまく環境...

ここからが「新しい私」の始まりです。

彼女を見つけて
「けっこん」
したい
(20代)



を吸収し酸素を出していると思っています(50代) なつて、じぶんだけで

セピア色の写真から

— よりよい社会をめざして —

石田 貞さん



改正男女雇用機会均等法が施行されて1年、女性が男性と同等に働き、責任ある地位に就くことは当然のこととして受け入れられつつある。とはいえ、女性の就職内定率にも現れているように、現実にはまだまだ課題は山積みしている。

社会教育への道

そこで、高岡市厚生部長(注1)、教育委員会委員長を務め、まさに働く女性のパイオニアである石田貞さんにお話を伺った。

石田さんは、小学校教師を5年間勤めたが、長男の出生により退職。家事育児に専念していたが、10年後、知人の紹介により、再び教育に携わることになる。昭和26年、33歳の時であった。そして、『社会教育、とりわけ婦人教育』との要請を受け、未知の世界である社会教育行政への道を開拓していくことになる。33歳から44歳までという意欲とバイタリティーに満ちた年代に、社会教育という新しい分野に踏み出したが、全てが順風満帆ではなかったそうである。男女雇用機会均等という言葉すら存在しなかった時代、風当たりの強さは想像に難くない。しかし、対立する意見にもとことん話し合いながら仕事を進めていく石田さ

んの姿勢に理解を示し、協力してくれる人たちの出会い、そして、積極的に家事を手伝い、応援してくれる家族の存在が、前進の励みになったそうである。

こうした幸運な出会いには人だけにどまらず、学習する機会にも恵まれていた。昭和27年から1年間にわたり、金沢大学で社会教育主事講習を受け、その10年後には第1回社会教育研究全国集會に参加した。この集會は、研究者・実践者が対等の立場で悩みや将来の展望について語り合う、というもので、実践者の先頭に立つ石田さんにとって、大きな励みと活力になった。そして、この時のいわば同志ともいえる人々との出会いが、第1回北陸3県社会教育セミナーの開催へと発展していったのである。

こうして、自ら学び得たことを後進に教育すること、後に続くリーダーたちを養成し、自己実現の場を得たりリーダーたちが自主的に活動の幅を広げていったことで、石田さんの目指した道は確実に根を張り、拡大浸透していったのである。



全国初 市の女性「部長」へ

その後も、青少年室長(注2)、婦人児童課長(注3)、厚生部長と、要職を務めあげられたが、22年余りに及ぶ行政での日々は、常に新しい分野の道を切り開き、しっかりとした方向を定め、後に続く者たちを啓発し続けるものであったように思う。

「古い体質を変わらせるために私がい」と信じ、困難な状況と闘いながら、主張すべきことは主張し、常により良い社会のために模索し実践することで、理想像に向かい一步一步歩いてきた石田さん。

「必要だと思ふことは提案して働きかけることが大切」と、82歳の今でも、確固たる自信にあふれた言葉で、話を聞く私たちを励ましてくださった姿を覚えずにはいられない。

※注1、注2、注3は、当時の役職

「POP」から学ぶ「学び」

最近、生涯学習という言葉をよく耳にします。以前は余暇活動の一端として響いていたその言葉ですが、高度情報化など近年の産業改革の折でもあり、今は真摯に取り組もうという姿勢の人が多く見られる気がします。基礎教育はむろん、いわゆる学校教育から離れた大人たちにとって、現代の「学び」とは何かを考察していきます。

先日、高岡市宝町「こまどり養護学校」に取材に行ってきました。こちらは約5年前から最新のパソコンを導入した授業を行っています。近年では県内はじめ全国の美術展に積極的に応募し、コンピュータグラフィックス部門で着々と入賞実績を重ねています。

身体不自由の生徒達は、パソコンを利用することによって、限定されがちな自らの社会性を広げようと、全ての授業にとっても積極的な姿勢を見せているそうです。



学習課題
は、個々の得意な分野を生かそうという方向性で取り組まれ、国語だけとか美術だけに限定されただけのものではなく、音楽が好きなら国語や美術に音楽を合わ

せたりと、生徒に合わせたマルチな授業が実現されているようです。

生徒の一人の山本郁美さんは「楽しい。歌うことも好きなので、音楽をつけた動画作品もつくりたい」と前向きな笑顔。

指導の高社先生に教育方針をお尋ねすると、「自分でできることは自分でやる、個人の創造性を自由に広げるように指導してあげたい」との事。パソコンという情報機器を通して個人の創造性と他人との協調性、また作品を通しての社会性を学ぶ、自由でかつ発展的な校風が好ましく感じられました。

なるほど、自らが学習課題を作り、そして学習成果を上げていくという、ひとつの学習課程がここで体現されている訳です。定石にとらわれない、といえば社会生活でもしかり、です。企業などの組織間では新しい経済に活路を見出そうと、国境を越えた技術協力は活発ですし、個人レベルでも、地域のコミュニティーカレッジや教育機関への再入学をめざす、といった声も珍しくなくなってきました。

一昔前、私たちには学習方法や社会生活にマニュアルという強い味方を持っていた。が、今はそれは無く、新しい知恵を持たねばならない時代になってきたといえるのではないのでしょうか。

「学び」ことの第一歩。
それはもしかしたら、今の知識や自分を再認識することができる、柔軟な姿勢づくりになのかもしれません。

こんにちは 女性行政室です

「男女共同参画講座」の企画募集

募集する講座は、男女共同参画社会とはどのような社会なのか、また、男女共同参画社会にしていくなめには何が問題なのか、どのように考え取り組んでいけばいいの、といったことなどを、企画から実施まで市民が中心になって学習していく講座です。

応募資格

高岡市内に住む20歳以上の人で、講座の実施に携わることのできる人

講座内容

週1回(約2時間)、5回程度継続する講座とし、次の例などを参考に、男女共同参画・男女の共生を視点とするものをテーマとし、内容、形式などは特に問いません。

※特定の宗教、政治活動に関わるもの、利益を目的とするものは除きます。

テーマ例

- ・家族について
- ・女性と法律
- ・男性も楽しい子育て講座
- ・生き方、暮らし方
- ・私の気持ちの見つけ方
- ・参画ってどういうこと

平成11年度は、「女性のための表現講座～ミニコミを作ってみよう」と「心地よく生きるためのトレーニング」の2講座を実施しました。

この講座の企画を募集しています。

- ・思わず言ってしまう「…らしく」
- ・職場の中での男女平等
- ・その他、皆さんが日常抱えている悩みや問題、願いがテーマになるかもしれません。

応募方法

所定の申込書、または住所・氏名(団体・グループの場合は名称及び代表者名)・連絡先・応募者の活動内容・講座の概要・テーマ・日程・講師を記入した企画書を女性行政室に提出してください。

申込書は、女性行政室、伏木・戸出・中田支所、市立公民館などの窓口にあります。

募集期限

5月12日(金)

絵本から

BOOK紹介

優れた絵本は、大人から子どもまで誰が手にとっても、不思議な魅力で読む人を引きつけます。

今回紹介する絵本には、いずれも“自分の人生を他人まかせにしないで生きる”元気な女の子たちが登場します。明るくあたたかな視点で描かれたお話の世界を、時には小さな子どもとともにゆっくり楽しんでみるのはいかがでしょうか。

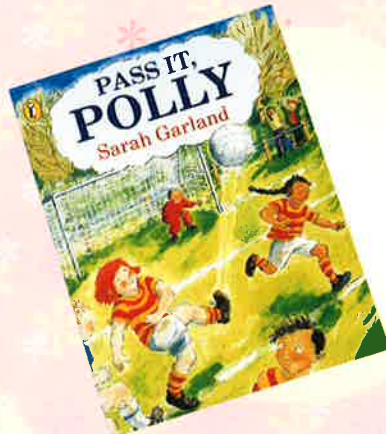
2冊は英語版ですが、言葉は短くカラフルな絵で書かれていますので、楽しく読めます。

■ I LIKE ME!

ナンシー・カールソン 著／ペンギンブックス

主人公のコブタちゃんは自分が大好きです。朝の歯磨きも、栄養のある食事も自分のためにちゃんと作って食べて、毎日楽しく生活しています。でも、時には失敗したり落ち込んだりすることもあるのです。

短く簡潔な言葉と、美しく暖かなイラストが魅力的です。



■ PASS IT POLLY

サラ・ガーランド 著／ペンギンブックス

「来週の対校フットボール試合に出てみたい人は？」ポーリーとニシャは手をあげるのですが、フットボールは見た目よりもずっと難しかったのです。

楽しいセリフがマンガ風の吹き出しの中に入っています。



■ 紙ぶくろの王女さま

ロバート・マンチ 文／マイケル・マーシェンコ 絵
加藤 葵 訳／カワイ出版

ある日、ドラゴンが来てお城をめちゃめちゃに壊し、王子をさらって行ってしまいます。王女は、たった一枚焼け残った紙袋をドレス替わりにして、王子を取り返すためにドラゴンを追いかけます。

さて、その結末はちょっぴり辛口。

編集後記

楽しい経験ができました。情報というものについて、これからは少し今までと違った視点から見ることができそうです。
岩城 英子

また春が巡ってきて、「あーりて」の編集もこれで最後となりました。悔いが残らないわけではないのですが、笑顔で卒業できそうです。ありがとうございます。
大石真知子

2年間、男女共同参画活動に関して、薄学な自分にお付き合いいただき、ありがとうございます。とにかく、少しでも新しい意識を持ち得たというのは貴重な経験だったと思います。
沢 陽子

ポジティブ・シンキング。これが取材で出会った人達の共通点です。どんな回り道も災いも無駄ではなく、そこから何かを得ようとする前向きさ。私も見習って、歩こう。

朴木 聖乃



この情報誌に対する
ご意見・ご感想を
お待ちしております。

